

令和6年度第3回安曇野市東部アウトドア拠点整備基本構想・

犀川×前川かわまちづくり推進協議会 会議概要

1	会議名	令和6年度第3回安曇野市東部アウトドア拠点整備基本構想・ 犀川×前川かわまちづくり推進協議会
2	日時	令和6年8月21日 午前10時00分から午前11時40分まで
3	場所	安曇野市役所4階大会議室
4	出席者	松本大学 総合経営学部 観光ホスピタリティ学科 益山 代利子 千曲川河川事務所 加藤工事品質管理官 安曇野市商工会 青年部部长 岩垂 巧磨 安曇野市観光協会 企画営業課長 佐藤 亜紀子 長野県水産試験場 専門研究員 小川 滋 アドバイザー 安藤 太郎 地域活性化起業人 吉田 拓 地域連携WS代表者 横内 健人 山崎 雅子 明科区区長会長 上条 順治 明科区 区長 小山 良 明科中学校長 堀金 猛 明科高校校長 向井 真弓 明科南認定こども園長 水谷 さとる 政策部長 児林 信治 市民生活部長 吉田 美千代 都市建設部長 横山 佳久 商工観光スポーツ部長 黒岩 一也 教育部長 洞 武志
5	事務局	政策経営課長 大月 敦史、政策経営課長補佐 白鳥 和子、企画担当主査 内川 聡介
6	公開・非公開の別	非公開
7	会議録作成年月日	令和6年9月5日

協議事項等

◎会議次第

1 開会

2 会長あいさつ

3 会議内容

(1) 現地確認を踏まえての協議

(2) その他

4 閉会

3 会議内容

(1) 現地確認を踏まえての協議

(水産試験場との連携・活用について)

【委員】水産試験場の活用の現状は、小学校の社会科見学を受け入れており、事前の予約で行っている。少数の方に関しては予約なしでも対応できるが、多くの方が訪れてしまうと対応ができない状況になっている。

【事務局】今の話を受けて、事前にご相談すれば対応は可能ということか。

【委員】事前にお話しをいただくのが前提として、研修目的の受入に関してはその状況に応じた形となるが、観光目的の研修についても、その時の状況によって対応できるかは変わる。

【事務局】他の方からの意見でも水産試験場との連携に関する意見があったため、こちらでも現状把握をしていきたい。

【議長】水産試験場の立場としては観光的な利用については、どのように考えているのか。

【委員】観光的な受入はできかねる。試験研究機関であるため、施設や人的な面で難しい。

【委員】冬になると市内の観光は落ち込む。その季節のタイミングで観光としての受入は可能か。

【委員】冬が鱒の採卵期となるため、業務が多忙となる。そのため難しい。また、意見一覧にある信州サーモンの活用については、稚魚を生産して、生産者様へお配りしているため、ほとんど飼育を行っていない。釣りでの使用という意見もあるが、問題があるためそれも出来ない。

【委員】水産試験場に以前お伺いした際に、土日は休みのため見学は難しいというお話しは聞いている。商工観光スポーツ部の方でも工場見学と観光を組み合わせたオープンファクトリーについての検討を進めている中で水産試験場も可能性があるのではないかと考えている。人数を絞った中でそのような対応についてご相談させていただければと思う。

【委員】興味深い部分ではあるが、ハード的な部分や人的な部分で現状そういった対応はできかねる。

【議長】水産試験場の現状については理解した。他の水産試験場の事例で人の対応がなくても、パネル展示等を行い、観光資源となっている可能性もあると思うが、いかがか。

【委員】開庁日であれば見学は自由に行うことができる。パネル展示も行っているが、大型観光バス等で来られると対応できない。少人数であれば現時点でも行っているので可能。他県である程度の人数の受け入れを行っている施設もあるが、そこは公園に併設される等のハード面での対応も可能となっている場所である。

【委員】かつての水産試験場は明科駅から行列ができるくらい賑わっていた。明科地域における水産試験場の役割は重要だと考えている。今までの話で水産試験場の職員の方が行うことは難しいことは理解できるが、現在遊休地となっているような場所が見られるため、そういった場所の利活用を民間に委託などを行い、観光に資する事業を行うことはできないか。

また、様々な意見が出されている中でハードとソフトの部分が一体となっているため、今後の設計などにどのように意見が反映されるのか確認したい。

【事務局】基本設計に入っていく中でハードとソフトそれぞれ検討していかなければならないと考えているが、施設と賑わい創りは切り離せない部分もあるため併せて考えていきたい。

**【委員】** 水産試験場の利活用については、今後検討を行ってほしい。

(センターハウスへの導線について)

**【委員】** 地形的には河岸段丘の一番下になる。そのため動線を考えた場合に上がったたり下がったりするのではなく、地形を活かした動線になるといいのではないかと考える。

また、この施設は家族が楽しめるような施設になるといいのではないかと考える。

**【事務局】** センターハウスと道路を繋ぐ部分に関しては、現時点で法律的な部分等の回答ができないため、今後検討を行う。犀川の堤防から入れるようにもしていきたいと考えている。また、家族連れが楽しめる場所というのは大切であり、水のアクティビティを楽しむだけの場所だと地元の方には物足りないと思う。家族連れや地元のこどもが楽しんで使っていただける施設である必要があると考えるため、ご意見として頂戴する。

(親水池について)

**【委員】** 池は人が集まる場所になると思う。水を井戸水に変更するなど考えていただきたい。先日、川で遊んで体調不良になる等の報道があったため、家族連れやこども連れが安全に楽しめるようにしてほしい。

**【事務局】** 井戸水の変更については検討していきたい。現在の池の水はワサビ田や鱒池を通ってきた水である。報道であった事例の原因については、今後確認をしていきたい。8月の3連休に水遊びのイベントを実施したところ大勢の方が集まったため、手ごたえを感じたため、安全に遊べるような水質について検討していきたいと思う。

**【委員】**

池が新しくなったが、コンクリートがとがっていて危ない部分がある。この先こども達が遊びやすくするように変更を行う場合、どこまでできるのか。

**【委員】**

現在の池は2年前に整備したものの、今後使いやすく変更を行うことは可能であると思われる。

**【議長】**

具体的にこういう形状だったら使いやすいというような希望はあるか。

**【委員】**

現在の水深は約30cmである。小さなお子様やカヌーの練習ができるように段々になっている方が良くはないか。また安曇野は湧水で売っているのであれば、湧水が美しく見えるような景観の場所になれば良いと考える。

**【委員】**

池の水質に関しては、基準を適用するとした場合はプールと同じ基準になると思われ、塩素を入れる

などの対応が必要になる。そのため、ここには適さないのではないかと考える。

保健所と調整を行っていかねばならないと考える。

**【事務局】**

今後、基本設計を進める上で検討を行う。

(前川下流部)

**【委員】**

この間の現地確認の時に川の水量が多かったため、もし子どもが落ちたらどうなるのかと思ったため、遊歩道の整備と併せてフェンスのような川へ落ちないような安全対策に関する設備の設置もやっていただければと思う。

**【事務局】**

前川の管理は県になるため、県とも協議を進めていきたい。

**【議長】**

前川沿いに注意喚起のサインを設置することは可能か。

**【事務局】**

可能と考える。またセンターハウスが出来た際には注意喚起のインフォメーション機能も含まれると思うため、そこでも注意を促すような取り組みも必要と考える。

**【委員】**

現在、藪が多くて川に近づけない状況ではあるが、今後整備されると川に近づけるようになるため、そういった安全対策をしっかりと取らないと危険なものになってしまうのは間違いないと思う。

**【委員】**

植栽は、地域の方のボランティアが今までやってきてくれたが限界だと思う。しっかりと手を入れないと統一性がない。あやめ祭りの時も人が歩くエリアだが、もっと綺麗に見せられる観光の場所になると考える。

また、犀川の方角いてアルプスを見ようとすると、犀川の中の木が大きくなっており、アルプスが見えない状況であるため、そういった部分の整備が必要であると考え。

**【議長】**

植栽の管理については、建物の違い、継続的に行う必要がある。国、県、市のそれぞれの所管はあるものの一体的な管理をしていかねばならない。

**【事務局】**

実際に行っている方の高齢化は問題であり、頭を悩ませている。あやめ公園内の木道も整備しており、今後も継続して検討していきたいと思う。

**【議長】**

このエリアにビューポイントを作る予定はあるか。

**【事務局】**

考えていなかったが、そういった考えもある。

**【議長】**

橋を改修すると思うので、橋から見える風景を想定して推奨できるスポットを用意できるといいと思う。

**【事務局】**

ご意見として頂戴する。

(キャンプエリア)

**【委員】**

公園の中で一番広いエリアだと思われるので、キャンプだけでなく様々な使い方が出来ると良いのではないかと。

**【委員】**

あやめ公園と明科高校の堤防を繋ぐことでできれば明科高校のエリアとも連携が図れるのではないかと。

**【委員】**

キャンプ施設の整備と同時に貸コテージを設置することで合宿の誘致をすることができるのではないかと。

**【議長】**

利用料を取るところは有効な施策ではないかと思う。

**【事務局】**

新しく施設を整備する場合には、この施設である程度の収益を上げることは必要。ただ行政が整備する場所であるため、高い料金を設定することは難しい。いずれにしても施設を利用していただくことは必要であると考えているため、そういった部分も含めて今後検討していく。

**【議長】**

キャンプ場として整備が進むと、キャンピングカーで全国から来るとされる。そういったときにお手洗い、電気、Wi-Fi等の施設を積極的に整備するのか、最低限のものにするのかは今後の議論として意見を述べておく。

**【委員】**

ゲートボール場は、ずっと使われていないため有効利用をしていただければと思う。あやめ祭りの会場くらいでしか使われていない。

**【委員】**

先ほどの上条委員の意見の中であったキャンプエリアにコテージを建てられるのかどうかに対する回

答はどうなったか。

【事務局】

法的な部分の関係もあるため、現時点で回答することはできない。

【委員】

水産試験場の中で使われていない池があるため、景観も良くないため中も整えてほしい。

【議長】

使われていない池や管理状態についての現状の説明をお願いしたい。

【委員】

池に関しては、現在使っていない所も定期的な入れ替えなどを行い、利用している状況。

【委員】

キャンプエリアやキャンプファイヤーができる施設ができると明科のこども達から離れていっているように感じる。

というのも学校の宿泊学習をほりで一ゆでやっており、明科ではできる場所がない。そのため小学校の校長先生とも明科でできるような施設があるといいのではないかという話をしたことがある。

【事務局】

スペース的に限られた場所であるため、こども達全員を受け入れるのは難しいかもしれない。ただ、クラス単位などで安全教室等の体験ができるように考えていく。

(犀川護岸)

【委員】

水の安全対策についての対応もお願いしたい。

【委員】

今回の整備の中でというよりも日常の中での管理の側面が強いため、日々のパトロール等で対応を行っていきたい。

【議長】

ハード整備だけでも難しいと思われるため、日々の注意喚起を促すようなパンフレットを作成する等の施策を打っていった方が良い。

【委員】

市全体としても考えていていただきたい。

【委員】

前川よりも犀川は危険が多い。勾配はないものの、倒木が多く、急激に深くなるなどの危険がある。会長も言われたようにソフト面で改善していかなければならない。そのために出来た施設では子どもたちに対して、川での遊び方やどのように川と関わっていくのかを含めた教育を行っていかねばならない。

(その他)

**【委員】**

明科駅からの導線が大事である。車で来て、車で帰ると経済効果がない。また点在するアクティビティを繋げていかなければならない。東西を繋ぐような象徴的な導線が整備されるといいのではないかと思う。

**【事務局】**

駅からの人を呼び込む部分に関しては、イベントの実施などソフト面での解決方法もあると思うので、そういった方法を検討していきたい。

**【議長】**

空き家の利活用を含めて、何かをやりたいと手を挙げた人に対し、応援をする工夫を考えるべきかと思う。

**【委員】**

夕方公園に行くと散歩している人などがいる。そういった方の意見を聞く必要があると考える。飯田市の天竜川では学習施設を設けている。そこには人がいて学習ができるようになっている。今回の施設もそういった部分が必要だと思う。

**【事務局】**

イベント実施時にはアンケート調査を行っているが、堀金委員が仰る通り普段使っている人の意見を聞くことは大切だと思う。

また、天竜川の施設と同じものを整備するのは難しいと思うが、ソフト面で安全教育のような部分を提供していくことは行っていきたい。

**【議長】**

こちら側から意見を聞く姿勢を見せるのは大切。

**【委員】**

国道と川に挟まれた中での導線について考えなければならない。その中で駐車場については課題だと思われるため、考えていかなければならない。

**【議長】**

パークアンドライドや自転車等の交通手段についても考えなければならないが、市としてどう考えるか。

**【委員】**

月極駐車場が明科駅前多いが、時間貸についても民間の方に協力をしていただければと考えている。

**【議長】**

キャンプエリアに一番近い駐車場はどこか。

**【事務局】**

グラウンド横の駐車場になる。あやめ祭り際にはグラウンド全体が駐車場となる。この他保育園や多目的広場にも駐車場はある。

**【議長】**

駐車場のキャパシティを管理していくのは大切である。停められなくなった場合の対応について検討していく必要がある。

**【委員】**

この話のスタートはこの地域が過疎指定されたことであり、どのようにこの地域に人を巡らせていくのかについて今後のタイムラインを伺いたい。

**【事務局】**

具体的なものはお示しできないが、明科の魅力を知っていただき、アクティビティの機会の提供をしていくことが重要と思っている。施設ができるまでに明科の魅力を発信できるようなイベントを行うことが大切であると考えている。

にぎわいづくりのために具体的にどんな取組ができるかについては、業者からの支援を受けアクションプランを検討したい。

**【議長】**

地域の方々の声を聴く機会を含めたタイムラインも併せて計画を立てていければと。

**【委員】**

施設整備後の維持管理について、シルバーやボランティア頼りではうまくいかないと思われるので、行政がどこまで関わっていただけるのか、今後ハードの整備の中でお聞きできればと思う。

**【事務局】**

施設の維持管理費を生み出していくような魅力のある施設にしていくように考えている。

**【委員】**

施設に目が行ってしまいがちだが、まちにも目を向けていただき、車のキャパシティはある程度決まっているため、明科駅からの導線については検討していただきたい。

**【委員】**

水没してしまう可能性のある施設であることを念頭に置きつつも、持続可能な施設であることも重要であると考えられる。

**【事務局】**

市だけでなく地域の皆さんの協力も得ながら魅力ある地域にしていきたいと考える。

災害への対応については大事である。基本設計に入っていく中で専門家の意見も踏まえながら考えていきたい。

**【議長】**

安曇野市は豊かな水のまちという印象がもう既にあるが、それと同時に安全に水を活かしていくというブランドイメージを作る上で今回の施設を整備するタイミングが良いPRのできる機会と考える。

その他

第1回協議会で内容を確認いただいた「安曇野市犀川×前川かわまちづくり計画」を6月に申請し、8月8日に登録いただいたので報告する。

◎次回の予定

12月18日（水）第4回実施予定